

応用マテリアル工学コースの主な就職状況

2006年度～2024年度 学部4年生、大学院修士2年生、大学院博士3年生（卒業・修了生 796名） 主要な就職先一覧

日本製鉄⁵⁹、JFEスチール³²、神戸製鋼所³¹、三菱重工業²⁹、博士研究員²⁶、
JX金属²⁰、大同特殊鋼²⁰、トヨタ自動車¹⁸、古河電気工業¹⁶、UACJ¹⁵、
パナソニック¹⁴、日本製鋼所¹⁴、東芝¹³、IHI¹²、大学教員¹¹、
日本原子力研究開発機構¹¹、日産自動車¹¹、日立製作所¹¹、住友金属鉱山¹⁰、
住友電気工業¹⁰、日本軽金属⁹、本田技研工業⁹、DOWAホールディングス⁸、
北海道電力⁷、デンソー⁶、三菱マテリアル⁶、札幌市役所⁶、富士通⁶、北海道ガス⁶、
荏原製作所⁶、日立建機⁵、日立金属⁵、トヨタ自動車北海道⁵、北海道住電精密⁵

（赤字は就職者数です）

高専出身の先輩達と、みなさんへのメッセージ

2024年度	群馬高専 物質工学科 津山高専 機械システム系 仙台高専 マテリアル環境コース	2018年度 2017年度	新居浜高専 環境材料工学科 苫小牧高専 物質工学科 茨城高専 電子制御工学科
2023年度	東京都立産業技術高専 ものづくり工学科機械システム工学コース	2016年度	仙台高専 マテリアル環境工学科 苫小牧高専 物質工学科
2022年度	函館高専 生産システム工学科	2015年度	苫小牧高専 物質工学科 仙台高専 マテリアル環境工学科 八戸高専 物質工学科
2021年度	仙台高専 マテリアル環境工学科		
2019年度	小山高専 物質工学科 仙台高専 マテリアル環境工学科		



私は仙台高専マテリアル環境コースからの編入生です。大学編入後、基礎から学び直し、より多くの専門知識を習得して大きく成長できたと実感しております。このコースには材料系に限らず、元々機械系や化学系専攻だった編入生が多く在籍しています。先生方、編入生の先輩方が手厚くサポートしてくれるので、安心して勉学に励むことができます。是非応用マテリアル工学コースと一緒に頑張りましょう。皆さんの入学を心から楽しみにしております。

応用マテリアル工学コース3年生 丸川 紗矢（仙台高専マテリアル環境コース出身）

私は材料工学に関する知識をより深めるため、仙台高専マテリアル環境工学科から応用マテリアル工学コースに編入学しました。応マテでは専門知識を楽しく身につけ、材料工学をより好きになれると思います。それだけでなく、高専から大学へ環境を変えることで、勉強以外にも自身の価値観の更新や、社会への視野を広げることが出来ます。編入後の不安はありません。私を含め編入生の先輩がサポートします！友達や先生方も心強い味方です。皆さんが応マテに来ることを楽しみにお待ちしております！

大学院工学院博士課程2年生 清水 友斗（仙台高専マテリアル環境工学科出身）



応用マテリアル工学コースは、マテリアル・材料工学出身者だけではなく機械・化学・電気・電子工学など幅広い分野から編入学してくる方々が沢山いる、非常に特色のある学科であると思います。「マテリアル」という言葉の定義は非常に多岐にわたるために、マテリアル工学を探究するためには様々な分野からの知識が必ずと言って良いほど必要となります。つまり、編入学を希望している方々が今現在身に付けている専門知識がそのまま皆さんの大きな武器となるのです。多様なマテリアル研究の世界へと足を踏み入れ、皆さんと一緒に研究する日が来ることを心待ちにしております。

応用マテリアル工学コース准教授 坂口 紀史（旭川高専電気工学科出身）

私が高専から北大に編入した時（平成元年）は学部の2年生に編入でしたが、最近では3年生として編入できるようになったので、センター試験を受けて入学する人達と同じ年齢で卒業できます。その点からも受け入れ態勢は以前よりも確実に整ってきているといえるでしょう。応用マテリアル工学コースには私を含め編入してスタッフになっている先生が何人もいます。皆さんが編入した際には、先生として接するだけでなく、編入生の先輩としてもアドバイスできることが多くあると思っています。私達と一緒に新しい材料の未来を切り拓いていきましょう！

応用マテリアル工学コース教授 上田 幹人（苫小牧高専工業化学科出身）

